

# 令和7年度 第1回関市立図書館協議会 会議録

日時 令和7年7月8日（火曜日）午後1時30分～

場所 わかくさ・プラザ 学習情報館 2階 ギャラリー

## ◆出席者

（図書館協議会委員）

三輪英二、波多野壽美、平川貴久、藤根隆、河合裕子、鈴木幸子、可児翔也

以上7名

※欠席者 早川貞子、長屋沙織

（事務局）

多田和生協働推進部長、野田和江生涯学習課長、深川理代

（図書館）

庄司龍彦館長、亀山並枝館長補佐

## ◆傍聴者 なし

### 1 開会

### 2 委嘱状交付

### 3 協働推進部長あいさつ

皆様こんにちは。お暑い中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。皆様には図書館協議会委員を委嘱させていただきました。2年間よろしく願いいたします。

図書館が、市民の皆様に気軽に利用していただけるよう、様々な取り組みを進めていきたいと考えております。この会の中で皆様から様々なご意見をいただき、少しでも良い図書館にしていきたいと思っておりますので、ご協力よろしく願いいたします。

### 4 自己紹介

### 5 会長選出

- ・三輪委員を会長に選出

## 6 会長挨拶

皆様こんにちは。梅雨が早く明け、毎日暑い日が続いております。この暑さは命に関わるような厳しさがあり、ただ暑いと言うだけでは済まされない状況だと感じています。この職を2年前に引き受けた際、私自身は読書や図書館に向いていないのではないかと思いながら、この会に参加させていただきました。今回で5回目となりますが、図書館について知る良い機会になっています。

最近、電子図書館の「リビィ」というアプリを自分のスマホに入れ、暇な時に雑誌を見たり、本を読んだりしています。現代は便利になり、わざわざ図書館で借りなくても、2週間借りることができ、期限が来たら自動的に返却されるというシステムです。学校でもタブレットが導入され、そのような時代になってきたと感じます。

一方で、ネット社会となり、携帯で様々な情報が手軽に入手できるようになりましたが、中には誤った情報も含まれているため、しっかりと判断する必要があります。そういったことを考えると、著者がきちんと書いた内容の本を読むことが重要だと個人的には思います。皆様がこの会で、図書館や図書館運営、読書に関する情報交換を通して交流を深めていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

## 7 議事

- ・三輪会長による議事進行

### ① 図書館運営状況について

- ・図書館長より資料に基づいて説明

## 8 質疑応答

【委員】旭ヶ丘のふれあいクラブでコーディネーターをしています。ふれあいクラブが図書館見学をした説明がありましたが、私のところでも考えたいと思いますが可能でしょうか。

【館長】他のイベント等が無くて職員が対応可能な日程なら、ぜひ受け入れていきたいと考えていますので、一度ご相談をいただけたらと思います。ただし、一度の人数を20人程度にいただけると有難いですので、複数年で受け入れるなど、様々な方法を考えていきたいと思っています。

【委員】文化協会の方が自費で本を出版していますが、そういった本を図書館においてもらうことはできますか。

【館長】資料として個人が書いた本も受け入れしていますのでご希望があれば可能です。

【委員】ブックトークですが、小学校と中学校では読む本が変わってくると思いますが、内容を変えているのですか。

【事務局】おおまかな流れは変えていませんが、小学校では絵本が入っているのを児童書に変えたりと、紹介する書籍を少し変えています。

【委員】学校現場にいる立場として、子どもたちに本をたくさん読ませたいという思いがあります。活字離れという言葉も聞かれますが、それ以上に本を読まなくなることによって、国語力の低下があると思っています。国語力の中には、考える力、つまり論理的思考力も含まれますが、それ以上に「感じる力」、例えば相手の心の痛みを理解する能力や、想像力、何かを創り出す能力ではなくイメージする能力が、国語力として重要だとされています。しかし、本を読まないで、そうした心が育たないと感じています。言われた人がどう感じるか、どのような気持ちになるのか、といったことが分からないのは、読書から遠ざかっているためだと考えます。したがって、不登校や人間関係をうまく築けない子どもたちの問題も、読書離れの影響が大きいと感じており、ぜひ本を読ませたいと考えて活動しています。

そんな中で、電子図書館も活用しているところですが、学校側として子ども達が電子図書館をどれだけ利用しているかといったデータを把握したいと思っています。月ごとや学年ごとにデータを頂くことは可能でしょうか。

【事務局】図書館主任会では年間のデータをお渡ししていますが、お申し出いただければ個別のデータを提供することは可能です。

【委員】分館分室ではまだ電子図書館が十分に浸透していないように思われます。電子図書の登録方法や使い方に関する講習会を実施させていただく場合、図書館の方に講師として来てもらうことは可能でしょうか。

【館長】ご依頼があればもちろん可能です。

【委員】図書館業務は多岐にわたり、館内の作業だけでなくレファレンス業務や学校との連携など多くの業務をこなしておられると推察します。働き方改革がいわれる中で、どのような対応や工夫をしているのですか。

【館長】長年勤務している職員が多いため、それぞれがどのような業務を担当しているかを皆が把握しています。そのため、「今、自分がこれを担当しているから手伝おう」とか、「大変そうだから誰か手伝おう」といった声かけが自然に発生し、互いに助け合う良い環境が築かれています。

【委員】学校現場では以前から朝読書が行われていましたが、最近朝の時間に計算問題を解くなどの取り組みが行われるようになっていきます。読書推進は重要であるものの、そうした時間がなかなか確保できないという状況について、どのようにお考えでしょうか。

【委員】私の学校では週5日のうち、週に1回は集会のような日となっており、曜日はほぼ固定されています。朝読書は週に2回行い、残りの2日は学習の時間に充てています。したがって、毎日全てを朝読書にしているわけではありませんが、それでも本に触れる機会は設けています。元々朝読書が推奨されるようになったのは、一日の始まりに落ち着いて活動を始めるといふ背景があります。私の世代の子どもたちもそうでしたが、少し後の世代では、学校が荒れていた時期がありましたね。そうした状況下で、朝まず本を読んで落ち着いた状態で一日をスタートさせることが、生徒指導上も良いという観点から始まったと記憶しています。現在は、かつてほど学校が荒れているわけではありませんが、やはり集中して何かに取り組むことは、非常に良い一日の始まりになると考えています。

## 9 閉会（生涯学習課長あいさつ）

皆様、本日は図書館運営について、貴重なご意見やご感想をいただき、誠にありがとうございます。

図書館は日頃より、お子様からご高齢の方まで、また性別を問わず、本当に幅広い層の皆様にご利用いただいております。図書館の役割は、本の貸し出しだけでなく、学習スペースの提供、講座やイベントの開催、さらには情報の収集や発信といった多岐にわたるものへと多様化しています。このような時代において、利用者の皆様のニーズに合わせたサービスを提供し、地域社会に貢献していくことが求められています。

そのためには、本館だけでなく、分館や分室も一体となって取り組むことが不可欠です。先月には、本館、分館、分室、そして生涯学習の担当者が一堂に会し、それぞれの地域の課題や現状、そしてその解決策などを共有いたしました。本日皆様方からいただいたご意見も取り入れながら、より良い図書館運営に努めてまいります。

まもなく小中学校、高校ともに夏休みに入り、利用者の皆様が大変多くなる時期を迎えます。皆様に快適にご利用いただけるよう、環境づくりにも引き続き取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日は誠にありがとうございました。